

在宅福祉ふれあい事業



つなが～れ便



(発行)令和6年3月
函館市社会
福祉協議会
TEL23-2226
FAX23-2224



はじめに

在宅福祉委員会の活動は平成3年からスタートしており、30年以上続ける事業です。この事業を進める委員の皆さんには10年以上ご協力いただく方が大半で、30年務めるレジェンド委員もいらっしゃる等、委員の高齢化や担い手不足という課題も多くあります。そのような中でも若手委員が活動を盛り上げている地域もございます。今回はそこにも注目してご紹介いたします。

追分町在宅福祉委員会

夏の茶話会編



追分町在宅福祉委員会では今年度より**若手委員**が会食会・茶話会を担当し奮闘中です！

いらっしゃいませ～
どうぞこちらへ♡



特殊詐欺と交通安全マナーの講話

8月の茶話会では函館方面函館西警察署生活安全課の方々をお招きし、前半は函館市内で発生した特殊詐欺の事例や防止方法等のお話をさせていただきました。

▼特殊詐欺についてのお話



▼交通安全マナーについてのお話



後半は、交通安全マナーのお話を聞き、参加者から朝の自転車通行問題の話に発展し、改めて、西警さんへ見回りのお願いをしていました

帰りは玄関の段差を見守りながら、「また来て下さいね～🍊」とお見送りしてありました。



冬の会食会編

特殊詐欺被害防止講話(カードゲーム実践)



12月の会食会では函館方面函館西警察署と北海道教育大学函館校が連携して取り組んでいる特殊詐欺被害防止講話を初めて披露していただきました。

▼大学生による講話スタート

初級編として、詐欺の種類別、特徴、手口をまとめた資料を丁寧にお話がありました。



▼電話による詐欺手口実践



もしもし、市役所の〇〇です。〇〇様に事前にご案内しておりました、還付金のお手続きが未だでしたので、確認のお電話をしております。

そのような書類送られてきてませんけど…
どうしたらいいですか？



男性参加者さんがアドリブで挑戦中！

▼カードゲームの実践



次は詐欺の種類別、特徴、手口が書かれたカードを使って、組み合わせゲームに挑戦しました。

答え合わせ



グループで相談中…

正解です！

最初に聞いた話をしっかり覚えている皆さん。答え合わせをすると、間違いも少なく、大正解でした!!



企画～当日司会進行も若手委員の方々が迷いながらも楽しく進めている様子が伝わりました。会食会では開催の季節に合わせ、お茶の横に可愛い折り紙のツリー🎄が添えられており、何気ない演出にほっこりでした😊

万代町在宅福祉委員会

小学生委員、想像以上のパワーを発揮!!

万代町在宅福祉委員会は敬老会、クリスマス会、餅つき、豆まき、ひな祭りと季節の行事に世代間交流を進めてきております。毎年参加して委員会の活動をよく知る子供たちが、ついに委員活動へ加わりました!!



去年のひな祭り(会食会)



9月に開催した「第3回在宅福祉ふれあい事業 ボランティア養成研修」では実践発表団体として、この活動をご紹介いただきました。研修に参加されていた他の委員会からも進め方について質問等されており、多くの関心を寄せられておりました!

2人の活躍は新聞にも大きく掲載されました!!



(委員長の声)
活動は大人と一緒にが原則。会食・茶話会の食事作りからお手伝いがスタート。包丁も使っています。切り方、並べ方は、**繊細で丁寧!** 食事を小学生委員から受け取る対象者の笑顔は全然違います!



今年のひな祭り(会食会)



小学生委員が1名増えました◎

花園町在宅福祉委員会



ハロウィンの装飾で楽しい雰囲気!

サンドウィッチバイキングを実施。ハロウィンの装飾で季節感を出し、BGMを流す演出で、カラフルで賑やかなバイキング会場になりました。



色とりどりの具材をワクワク迷いながら楽しそうに選んでいます♪



大きなお口をあけてほおばる参加者さん! とっても良い表情でした。

美味しいよ!

駒場自治町会在宅福祉委員会

こちらの委員会の茶話会には初めてお邪魔させていただきました。この日はおりに挑戦!



こちらの折り方合ってる?

今回挑戦しているこの折り鶴、左右の色が違ってくる折り方で、参加者の皆さん大苦戦🐼

「ここまで出来たけど、この後どう折るの?」と委員長に助けを求める可愛い参加者さん♥



折り紙は頭と指先を使う脳トレ。この日もたくさん脳に刺激を受けた時間だったと思います。出来ないよ～と言いながらもチャレンジする参加者の皆さんが素敵でした🌟

❀ 編集後記 ❀

今回表紙にご紹介した追分町在宅福祉委員会の皆さんは子育て中のお母さんが中心です。スキマ時間をうまく使いながら、研修会への参加や他の委員会の活動も視察して、自分たちの活動に取り入れられないか検討する等、本当に一生懸命に取り組んでおります。また、今年度第1号～3号までご紹介した委員会はもちろん、その他数多くの在宅福祉委員会が地域の中で工夫をしながら活動に取り組んでいただいております。

今年度の発行は今回で最後になります。詰め込み過ぎて読みにくかったかなと反省もありますが、在宅福祉委員会の素敵な活動をご紹介することが出来て良かったと感じております。本紙を読んでいただいた皆さんには、ぜひお近くの在宅福祉委員会の活動を温かく応援していただきますようお願いいたします。(担当 山下)